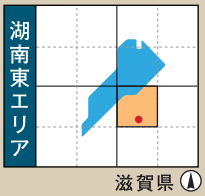
史跡
県指定

雨宮古墳（あめみやこふん）

竜王町岡屋　平成5年3月31日指定



雨宮古墳は、竜王町の平野の最奥、交通の要衝でもある祖父川が形成した谷の入り口付近の、南北に延びる丘陵上に築かれた帆立貝形の古墳です。古墳の上からは竜王の平野はもとより、遠く琵琶湖まで遠望することができます。

当時のできごと	
421年	倭国東晋に朝貢
438年	倭王○を安東将軍に任ずる
443年	倭王○を安東将軍に任ずる

雨宮古墳の立地

雨宮古墳は、甲賀郡と蒲生郡を結ぶ南北の要路と、蒲生から甲西方面に抜ける、東西の道が交わる場所に立地します。これらの道は、地元で奈良道と呼ばれるように、山城、大和に通じる大動脈で、この要路沿いには、蒲生町木村古墳群（学習シートNo.052）、水口町泉古墳群（学習シートNo.047）などの有力な古墳時代中期の古墳群が展開します。

古墳自体の調査が行われていないため、明確なことはわかりませんが、築造年代が5世紀中頃と推定されることから、この古墳の被葬者は、大和と強いつながりを持ち、この古墳から見渡せる竜王の平地を治めた人物と考えられます。

雨宮古墳の構造

後方部の小さい、帆立貝形と呼ばれる形の古墳で、墳丘の全長は約82m、後円部の直径は約67m、高さは約9mあります。前方部の長さは約22m、幅約35m、高さ約1.9mです。外側に堤状の高まりのある周濠が巡ります。帆立貝形の古墳としては県下で3番目の大きさで、後円部の墳頂から出土した滑石製勾玉や、埴輪の年代から5世紀の中頃に築造されたものと考えられます。



雨宮古墳現況



雨宮古墳から雪野山方面を見る



雨宮古墳測量図

県内の帆立貝形古墳一覧

所在地	名　　称	墳長(m)	埴輪	葺石	濠	備　　考
栗東町	椿山古墳	99	有	有	有	町指定 （墳丘半壊）
同	地山古墳	91	有	有	有	（同上）
竜王町	雨宮古墳 （学習シートNo.055）	82	有	有	有	
大津市	本塚古墳	73	?	有	有	陵墓参考地
野洲町	大塚古墳 （学習シートNo.023）	72	有	有	有	国指定 大岩山古墳群
安曇川町	王塚古墳	70	有	有	?	陵墓参考地
水口町	西灌子塚 （学習シートNo.047）	60	有	有	無	県指定
栗東町	下砥山古墳	60	無	無	無	（墳丘半壊）
近江八幡市	供養塚古墳 （学習シートNo.042）	50	有	有	有	県指定 千僧供古墳群
大津市	西羅古墳	50	無	有	無	市指定
野洲町	円山古墳? （学習シートNo.023）	37	無	無	無	国指定 大岩山古墳群
同	亀塚古墳 （学習シートNo.023）	35	有	無	有	同上
栗東町	狐塚3号墳	32	有	無	有	（墳丘全壊）
高島町	拝戸3-10号墳	25	無	有	無	
野洲町	向山12号墳	23	?	無	無	

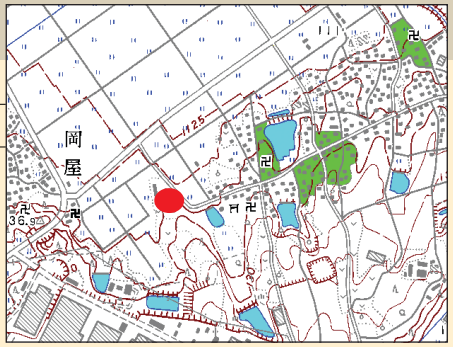
関連する文化財

大塚古墳 （大岩山古墳群）（野洲町）	学習シートNo.023
供養塚古墳 （千僧供古墳群）（近江八幡市）	学習シートNo.042
西灌子塚古墳 （泉古墳群）（水口町）	学習シートNo.047
西羅古墳 （大津市史跡）（大津市）	衣川廃寺跡の北西にある 帆立貝形古墳

もっと深く知りたい

竜王町教育委員会　☎0748-58-1001　蒲生郡竜王町小口3

安土城考古博物館　☎0748-46-2424　蒲生郡安土町下豊浦6678



雨宮古墳へのアクセス

JR琵琶湖線　篠原駅下車
名神高速道路　竜王インター

【参考文献】〔滋賀県埋蔵文化財調査年報〕滋賀県教育委員会

滋賀県教育委員会事務局文化財保護課　平成16年3月